

情報公開

倫理第 1254 号

「造影 CT 検査における造影条件と画質の検討」

研究の概要と目的：

造影剤自動注入装置を用いた造影 CT 検査は、検査ごとに適切な注入条件と撮影条件にて静脈内から注入して撮影を行います。造影剤注入漏れのリスクや検査画像の画質を考慮して、造影剤注入条件や撮影条件を変更して検査を行うことがあります。この場合、検査において得られた CT 画像が最適な画質（造影効果）を担保しているかについて解析をする必要があります。また、造影 CT 検査の合併症である造影剤注入漏れによる影響を最小限に抑えるために、造影剤注入条件と注入漏れの関係性を明らかにすることが急務となっています。この研究により、注入条件と撮影条件や注入漏れの関係性の解明から現状を改善でき、また検査中の造影剤注入漏れの早期発見が可能となります。今後の検査における造影剤注入漏れのリスクを減らし、安全かつ最適な検査画像を提供できることを本研究の目的として、造影 CT 検査の造影条件と注入結果や画質に関するデータ解析を行います。

本研究の対象：

本研究の対象者は、2013 年～2021 年に当院で造影 CT 検査を受けられた患者様です

意義：

造影剤注入条件や撮影条件の画質との関係性、注入条件と造影剤注入漏れの関係性が明らかになれば、検査における造影剤注入漏れのリスクを減らし、安全かつ最適な検査画像の提供が期待されます。

方法：

当院で施行された造影 CT 検査の注入条件や撮影条件と検査にて得られた CT 画像や解析画像、注入圧画像から得られる各値を後向き（retrospective）に収集し解析を行います。

研究機関：

熊本大学医学部附属病院 中央放射線部

本研究への参加と個人情報の保護：

本研究への参加を拒否されても何ら不利益は生じません。本研究に参加することで特別な謝礼などの資金援助はありません。また、患者様に費用の負担もありません。研究に使用する患者様の情報は中央放射線部で厳重に保管し、患者様のプライバシーの保護、人権保護には最善を尽くします。学会や論文発表は個人情報を匿名化して行われますので、個人情報が漏れいすることはありません。

2013 年～2021 年に当院で造影 CT 検査を受けられた患者様で、臨床情報を研究対象として使用することに同意できない方は、中央放射線部（下記）にお知らせください。

問い合わせなどの連絡先：

熊本大学医学部附属病院 中央放射線部 担当：坂部 大介
平日（9：00～17：00） 096-373-5746（技師室）